

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸
2022年度 第4回 国際交流委員会
議事次第

日 時：2023年2月17日（金）15時～

開催場所：兵庫国際交流会館 1階 ナダコムステーション

委員校：兵庫県立大学（委員長校）、神戸市外国語大学（副委員長校）、明石工業高等専門学校
芦屋大学、大手前大学、大手前短期大学、関西国際大学、関西福祉大学、関西学院大学、
聖和短期大学、芸術文化観光専門職大学、甲南大学、甲南女子大学、神戸海星女子学院大学、
神戸大学、神戸学院大学、神戸国際大学、神戸市看護大学、神戸松蔭女子学院大学、
神戸女学院大学、神戸親和女子大学、神戸常盤大学、神戸常盤大学短期大学部、
園田学園女子大学、園田学園女子大学短期大学部、姫路獨協大学、
兵庫大学、兵庫大学短期大学部 （計28校）

I. 報告事項

1. 中長期計画Ⅱ期 事業推進体制について (資料1)

II. 協議事項

1. 2023年度国際交流委員会 事業計画・予算（案）について (資料2)

① 兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業（取組1）

② 加盟校の国際交流プログラムとの連携促進（取組2）

・学生海外派遣プログラム

・模擬国連演習（JUEMUN）（3月末の単位互換事業募集開始・履修登録必要）

・事業年度内に加盟校で企画・実施し、加盟校に開放された国際交流プログラム

2. 留学生誘致について

3. 加盟校の外国人留学生数の調査について

III. 懇談事項

1. ポストコロナの留学生交流の情報共有

各大学の状況（受け入れ、送り出し、オンライン…）

2. トルコ・シリア地震への募金について

3. その他

IV. 連絡・調整事項

1. 2022年度の国際交流委員会開催予定と主な議題について

第5回委員会 3月下旬：2022年度事業報告・決算（案）

2. 2月22日(水) 15時～ 情報交換会 「留学生と日本人学生の交流を考える (資料3)

～持続可能な交流を目指して～

<資料一覧>

資料1-1：中長期計画Ⅱ期 事業推進体制について

資料1-2：一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸 事業委員会の運営に関する申し合わせ

資料2-1：2023年度国際交流委員会委員会 事業計画（案）

資料2-2：2023年度事業委員会事業予算

資料3：情報交換会「留学生と日本人学生の交流を考える ～持続可能な交流を目指して～」

以上

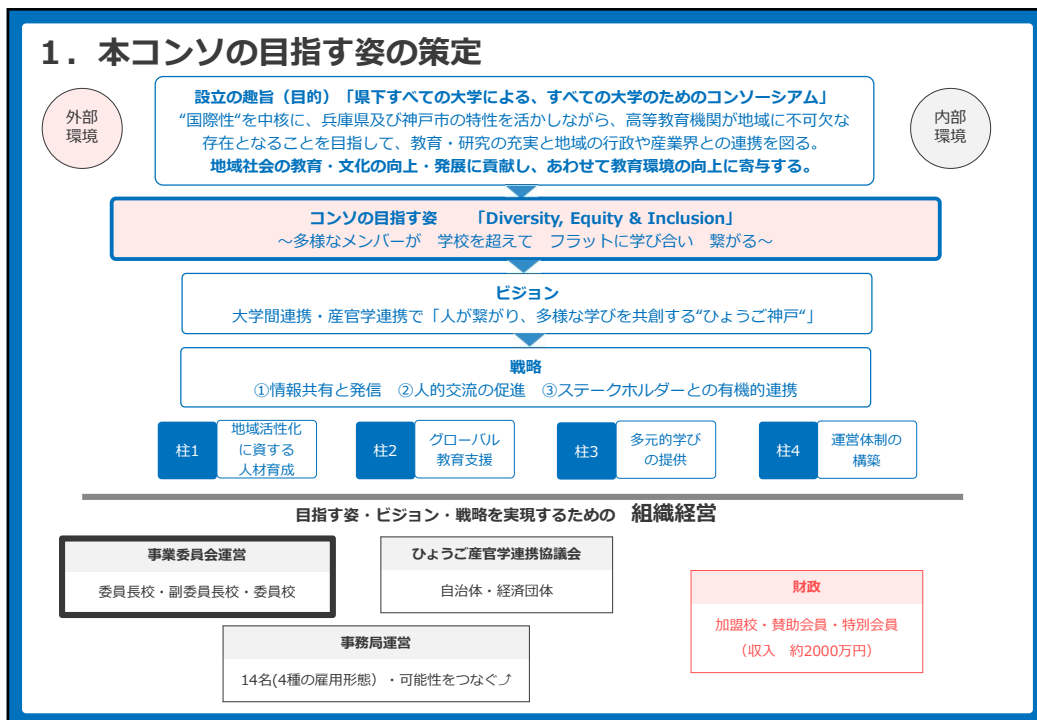
中長期計画Ⅱ期 事業推進体制について

資料 1 - 1







大学間連携組織の特徴を生かして、産官学連携による人材育成・教育支援に取り組み、地域に貢献できるような大学プラットフォームを構築するため、中長期計画Ⅱ期（2022～2026年）において、「**県内大学が活性化する大学間連携組織としての運営体制の構築**」を行い、**加盟校が積極的に参画でき活性化する事業運営体制**を検討致しました。

■事業委員会体制について

1. 本コンソの目指す姿の策定
2. 各事業委員会の委員長校・副委員長校決定方法（選択的輪番制）
3. 事業委員会の運営に関する申し合わせ（改定案）



2. 各事業委員会の委員長校・副委員長校の決定方法（選択的輪番制）

		選択制 <small>企画運営委員会・理事会にて調整</small>	輪番制 <small>理事校内で交代制</small>
1	事業の質	 ・担当校の継続により、 事業運営の安定性・継続性の担保。	 ・大学が力を入れている事業（ キャリア・FDSD ）に関しては 質保証が可。
2	固定化・負担論	 ・ 自学にとって優位性のある委員会を担当し、個性を発揮。 ・学内で同一部署が担当することで負担論が生まれる可能性がある。	 ・様々な大学、部署が担うため 公平化、平準化 が可能に。また2年後に向けての準備も可能となる。
3	コミットメント	 ・学内での理解者は増加しにくい ・特定部署のコミットメントは期待できる。	 ・ 様々な大学、部署にコンソ活動を広く理解頂く機会に繋がる。 ・ 学内でコンソの全容把握が進む。

事業委員会毎に、事業数や事業規模が異なるため、一律に選択制・輪番制を決定せず、**委員会の状況に応じて検討する。**

3. 事業委員会の運営に関する申し合わせ（改定案）

「一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸事業委員会の運営に関する申し合わせ」
全部改正の趣旨について（案）

2022 年 4 月 1 日から改正施行の現行「一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸事業委員会の運営に関する申し合わせ」を以下のとおり全部改正する。

1. 委員長校及び副委員長校の選考方法として、新たに選択制及び輪番制を導入することに
伴い選択制及び輪番制の定義、当該留意事項並びに経過措置を定めるための改正
（第 3-2 関係）
2. 文言の整備による改正（第 2、第 3、第 4、第 5 及び附則関係）

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸
事業委員会の運営に関する申し合わせ

企画運営委員会

1. 目的

この申し合わせは、一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸(以下「コンソ」という。)定款第38条に基づき設置した事業委員会の運営について、必要な事項を定めるものとする。

2. 委員等

事業委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 正会員の教職員で、原則2名(教員1名、職員1名)。
- (2) 毎年度、第1回委員会開催までに委員をコンソ事務局に登録する。

3. 事業委員会の組織及び所管事項等

- (1) 事業委員会は、委員長校と副委員長校を置く。ただし、副委員長校は複数校置くことができる。
- (2) 委員長校は、副委員長校と連携し、事業計画の策定、事業委員会の招集、審議等、行う。
- (3) 副委員長校は、委員長校を補佐し、委員長校が不在の場合は、職務を代行する。

3-2. 委員長校及び副委員長校の任期及び選考方法

- (1) 任期は2年とし、再任を妨げない。但し、委員長校については、再任が生じないよう配慮する。
- (2) 国際交流委員会、学生交流委員会、教育連携委員会及び高大連携委員会の委員長校の選考は、選択制とし、キャリア委員会及びFD・SD委員会の委員長校の選考は輪番制とする。
- (3) 6事業委員会の副委員長校の選考は、選択制とする。
- (4) 任期満了に伴う改選は、コンソ事務局が、委員長校、副委員長校の意見を聴取し、企画運営委員会で協議ののち、理事会で決定する。

【選択制】

- ① 選択制は、適用される委員会の正副委員長校の履歴を考慮し、正副委員長校を選択することとする。
- ② 事業委員会の委員長校の任期期間に理事が交代した場合であっても任期満了まで、引き続き担当する。

【輪番制】

・輪番制は、事前に決定した理事校内の大学順にて、委員長校を担当する。ただし、理事会が認める場合、順序を変更できるものとする。

【留意事項】

- ① 選択制4事業委員会の正副委員長及び輪番制2事業委員会の委員長については、原則として、理事校が担当するものとする。ただし、理事会が認める場合、理事校以外の正会員が担当することができるものとする。

- ②選択制と輪番制では、輪番制を優先するものとする。
- ③1大学が重複して正副委員長校を担当することがないように調整する。

【経過措置】

- ①委員長校及び副委員長校の選考方法については、2023年度より選択制及び輪番制を導入する。
- ②委員長校及び副委員長校の任期については、2023年度からの担当期間を原則として3年間(2023年度～2025年度)とする。
- ③2026年度～2027年度の委員長校及び副委員長校については、過去の就任実績を鑑みて2025年度後期に検討するものとする。

4. 事業委員会の任務

- (1)事業委員会は、理事会において決定された事業方針に則り、事業委員会内で事業の具体的な計画・実施・報告(自己評価)を行い、情報を共有する。

5. 事業委員会の招集・議事

- (1)事業委員会は、委員長が必要と認めたとき、又はそれぞれの事業委員会を構成する正会員の半数以上からの請求があったときに委員長が招集する。
- (2)事業委員会の委員長は、事業委員会の承認を経て、「正会員当たり原則2名の委員」に拘らず、計3名以上の者若しくは委員以外の者を出席させることができる。

6. 成立要件(定足数)

- (1)事業委員会は、それぞれの事業委員会を構成する正会員の過半数の出席をもって成立とする。
- (2)委員が欠席し、代理者が出席した場合は、その委員は出席したものとみなす。
- (3)「委任状」の制度は用いない。
- (4)事業委員会は、対面、オンライン、書面又は電磁的記録による会議方式によって開催する。

7. 議決権及び議決数

- (1)正会員あたり各1個の議決権を有し、議事は出席した正会員の過半数をもって決する。なお可否同数のときは委員長の決するところとする。

8. プログラム担当校

- (1)事業委員会において、必要に応じ、プログラムを主に担当するプログラム担当校を置くことができる。
- (2)プログラム担当校は、委員長校・副委員長校と相談のうえ、プログラムの計画、実施、報告(自己評価)を行う。
- (3)委員長校・副委員長校がプログラム担当校となることを妨げない。

9. 事業委員会事務局

- (1)事業委員会に関する事務は、コンソ事務局と事業委員会の事務局(委員長校・副委員長校)が連携して行う。

10. 改廃

この申し合わせの改廃は、企画運営委員会の議を経て、理事会で決定する。

附則

この申し合わせは、2019年4月1日から施行する。

附則

(1)この申し合わせは、2022年4月1日から施行する。

(2)「3.委員長校、副委員長校」の任期について、2022年度は、新たに任命された委員長校、副委員長校を含め1年とする。

附則

この申し合わせは、2023年4月1日から施行する。

以上

国際交流委員会

委員長校：兵庫県立大学

副委員長校：神戸市外国語大学

委員校：

（委員校は、加盟校からの2023年度申請を踏まえ、事務局にて更新致します）

<目的>

「国際都市神戸」を有する兵庫県の大学・短期大学・短期大学部・高等専門学校が加盟する
コンソーシアムとしてグローバル人材育成を目指した事業を展開する。

<内容>

- 1、兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業
- 2、加盟校の国際交流プログラムとの連携促進事業
 - ・学生海外派遣プログラム
 - ・模擬国連演習（JUEMUN）
 - ・事業年度内で加盟校で企画・実施し、加盟校に開放された国際交流プログラム

<期待される効果>

- 1、兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業

学生が主体的に学ぶことによる行動の変容、大学連携・産官学連携による留学生支援の新たな課題と
ニーズの取組促進、高度外国人材としての留学生の理解促進等の効果が期待される。
- 2、加盟校の国際交流プログラムとの連携促進事業

各加盟校の強み・特徴を活かした国際交流プログラムを加盟校に開放することで、自学では得ることが
できない学びの経験とネットワークの構築の機会を学生に提供でき、加盟校の学生の学びが深まり、
幅が広がることが期待される。

また、加盟校が抱える国際交流の課題を加盟校間で共有し、解決に向けたプログラムを実施すること
で、加盟校全体の国際交流の課題解消、多文化共生社会で活躍する学生の育成に繋がる効果が期待され
る。

実施プログラム名称		予算額
【取組1】	兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業	9,625,000円 * 受託事業収入
【取組2】	加盟校の国際交流プログラムとの連携促進事業 ①学生海外派遣プログラム ②模擬国連演習（JUEMUN） ③事業年度内で加盟校で企画・実施し、加盟校に開放された国際交流プログラム	50,000円

【⑤取組2】 達成目標	本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の80%以上 (期間中2回測定)
【⑤取組2】 活動指標	プログラム数10件以上

課題⑤	外国人留学生と日本人学生等の交流促進			
達成目標 【⑤取組2】	本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の80%以上 (期間中2回測定)			
課題を解決する 取組概要 【⑤取組2】	加盟校の国際交流プログラムとの連携促進 「模擬国連演習 (JUEMUN) 」			
活動指標 【⑤取組2】	プログラム数10件以上			
内容 (結果)	<p>【開催時期】 4/15 (Sat), 4/22 (Sat), 5/13 (Sat), 5/27 (Sat), 6/10 (Sat), 6/24 (Sat), 7/7 (Fri), 7/8 (Sat)7/9 (Sun), 7/15 (Sat)</p> <p>【募集人員】 20名(ただし受講者が10名未満の場合は不開講) 【主催大学】 神戸市外国語大学 【留意事項】 選考あり ※英語レベル: TOEIC 750以上, IELTS 5.5以上, TOEFL 76以上, 英検2級以上 【参加費用】 5,000円</p> <p>【履修登録期間】 ~2023/4/7 大学コンソーシアムひょうご神戸 単位互換事業の枠組みで履修登録が必要</p>			
新しい試み等				
事業収支	収入	支出	収支	備考
	50,000円	0円	0円	

自己評価	【対到達目標】		【対継続性】	
	(各事業委員会にて、4段階評価と検証結果(問題点、課題、改善点、改善内容、など、を記載)			

■自己評価基準
(対到達目標)

- 4：当初計画を上回って達成
- 3：当初計画を達成
- 2：当初計画をやや下回った
- 1：当初計画を下回った

■自己評価基準
(対継続性)

- 4：本プログラムは継続すべき
- 3：本プログラムは継続しても良い
- 2：本プログラムの継続には改善が必要
- 1：本プログラムは中止すべき

理事会からの 改善提案 (次年度事業計画に反映)	
--------------------------------	--

【⑤取組2】 達成目標	本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の80%以上 (期間中2回測定)
【⑤取組2】 活動指標	プログラム数10件以上

課題⑤	外国人留学生と日本人学生等の交流促進			
達成目標 【⑤取組2】	本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の80%以上 (期間中2回測定)			
課題を解決する 取組概要 【⑤取組2】	加盟校の国際交流プログラムとの連携促進			
活動指標 【⑤取組2】	プログラム数10件以上			
内容 (計画)	<p>●①学生海外派遣プログラム●</p> <p>日本は、衛生面・医療面で世界的に恵まれているが、国外において自らが体験することで医療に対する国際感覚を高める。習慣・文化・社会が日本と大きく異なる国への訪問を通して自国の状況を客観的に判断可能になり、海外から学ぶべきこと、また、海外で貢献できる点を理解し、問題解決能力を養う。</p> <p>【実施内容】</p> <p>○医療検査コース(対象学科=臨床検査技師や栄養士など医療系学科)</p> <p>アメリカ(ボストン) : 病院、バイオテック企業、大学研究室などへの訪問。 医療検査の知識を発展できる施設でのインタビューを通した見学研修</p> <p>ネパール(カトマンズ) : 病院、研究所、医療系大学等へ訪問、水質調査、微生物検査、衛生環境の調査など、フィールドワークを主とした内容、現地医療系学生との交流</p> <p>○看護コース(対象学科=看護師養成系学科)</p> <p>アメリカ(ボストン) : 世界トップレベルの病院、大学研究施設、ホームレスクリニック等へ訪問。 視野を広げる 研修</p> <p>ネパール(カトマンズ) : 現地病院やヘルスポストなどへ訪問。住民の健康状態の調査など フィールドワークを主とした内容。現地医療系学生との交流</p> <p>【開催時期】 2023年度実施については、3月上旬に決定する。</p> <p>【募集人数】 各コース各国若干名</p> <p>【費用】 アメリカ40万円、ネパール30万円(目安の金額。為替、航空券代金によって変動あり)</p> <p>【引率者】 神戸常盤大学教員 各コースごとに1~2名</p> <p>【その他】 事前および事後研修への参加が必要(場所:神戸常盤大学)</p> <p>※ コロナの影響を鑑み、研修内容が変更になる場合があります。</p> <p>【事前説明会】 渡航が決定すれば説明会を開催予定</p>			
新しい試み等 (事業計画に記載)				
事業収支	収入	支出	収支	備考
	50,000円	円		

自己評価	【対到達目標】		【対継続性】	
	(各事業委員会にて、4段階評価と検証結果(問題点、課題、改善点、改善内容、など、を記載))			

- | | |
|---|--|
| <p>■自己評価基準
(対到達目標)</p> <p>4：当初計画を上回って達成
3：当初計画を達成
2：当初計画をやや下回った
1：当初計画を下回った</p> | <p>■自己評価基準
(対継続性)</p> <p>4：本プログラムは継続すべき
3：本プログラムは継続しても良い
2：本プログラムの継続には改善が必要
1：本プログラムは中止すべき</p> |
|---|--|

理事会からの 改善提案 (次年度事業計画に反映)	
--------------------------------	--

2023年度 国際交流委員会 事業予算(案)

資料2-2

(単位：円)

	予算	各プログラム 予算				委員会 予算		
		【取組1】		【取組2】				
		兵庫国際交流会館における 国際交流拠点推進事業 (JASSO受託事業)		加盟校の国際交流プログラムとの 連携促進事業		内訳	予算額	
		内訳	予算額	内訳	予算額			
収入	会費収入	150,000			50,000		100,000	
	助成事業収入	0						
	受託事業収入	9,625,000	JASSO受託事業収入	9,625,000				
	プログラム収入	0						
	雑収入	0						
	戻入金	0						
	計	9,775,000		9,625,000		50,000		100,000
支出	会議費	80,000	会議費	80,000				
	旅費交通費	140,000	旅費	100,000	20,000	旅費交通費	20,000	
	通信運搬費	70,000	郵便、通信費	50,000		通信運搬費	20,000	
	消耗品費	50,000	消耗品費	50,000				
	新聞図書費	10,000	新聞図書費	10,000				
	印刷製本費	30,000			30,000			
	光熱水料費	0						
	賃借料	40,000	賃借料	40,000				
	保険料	0						
	謝金	1,211,000	諸謝金	1,161,000			50,000	
	租税公課	0						
	支払手数料	22,000	振込手数料	22,000				
	諸会費	0						
	委託費	852,000	HP制作費・業務委託	852,000				
	人件費	7,260,000	コーディネーター	7,260,000				
	接待交際費	0						
	支払支援金	0						
	雑費	10,000					10,000	
	計	9,775,000		9,625,000		50,000		100,000

収入-支出	0
-------	---

情報交換会

留学生と日本人学生の交流を考える

持続可能な交流を目指して

2023年2月22日（水） 15:00～17:00

概要

大学においては、在籍する留学生と日本人学生の交流を促進するため、様々な交流イベントやプログラムが実施されている。しかし、それらの交流は一過性のもので終わることも多く、その後の継続した関係性構築に至らない例も多い。

この情報交換会では、留学生と日本人の交流の事例を共有することで、関係作りのヒントを探る。また、参加者それぞれが今後の活動に関する示唆を得られるように、実際の活動の際に起こりうる問題点や疑問等を共有し話し合う場を設け、国際交流事業・留学生教育関係者で顔の見えるネットワークを作る。

プログラム

事例発表 15:00～16:00

- ① 関西学院大学の留学生と日本人学生の交流促進プログラムについて
関西学院大学 国際連携機構事務部
- ② 丹波篠山を舞台にした留学生との交流
神戸大学 大学院農学研究科地域連携センター&国際農業サークルAGLOC
- ③ カンパセーションパートナー・プログラム ー国際コミュニケーション力の向上を図るー
兵庫県立大学 国際交流センター
- ④ RYUKA国際交流～2つの取り組み紹介
流通科学大学 学生部留学生支援課

情報交換会 16:00～17:00

参加者同士で日頃の課題や問題意識、取り組み等を共有する

対象：留学生教育・支援や国際交流等についてご関心のある方や、
大学・行政・ボランティア団体の方

※参加費無料



会場：兵庫国際交流会館1階 Nadacom Station

詳細・申込：URLまたはQRコードより

<https://g-navi.jp/project/230222.html>

お問合せ：神戸大学グローバル教育センター 井上 高輔 INOUE Kosuke

E-Mail: k-inoue@person.kobe-u.ac.jp Tel: 078-803-5280

開催団体：神戸大学グローバル教育センター 大学コンソーシアムひょうご神戸

